

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会 【NO. 26-4】 2026年9月30日発行
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5745

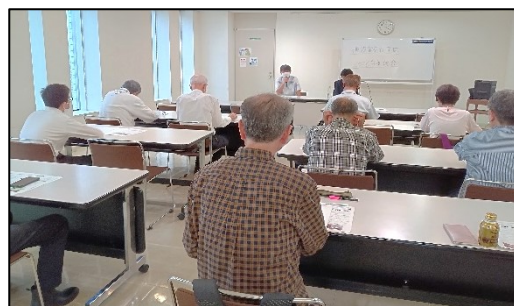
「横須賀市社保協」総会を開催、活動再開を確認！！

9月29日、「横須賀市社保協2026年度総会」を開催しました。総会には、神奈川土建、年金者組合、新婦人、民商、南医療生協、保険医協会の6団体12人が参加しました。来賓として、大村洋子横須賀市議（日本共産党）と県社保協の根本事務局長があいさつしました。

横須賀市社保協は、コロナ禍の2021年度から活動が停滞し、休眠状態に陥っていました。しかしその間、県社保協と地元の各組織が連絡を取り合い、横須賀市との懇談は継続していました。活動再開に向けての話し合いは、6月以降、3回行い、再開後の重点的な活動や会費、規約の改正、役員体制などを検討し、なんとか活動再開を確認する総会を開催することができました。

総会では、神奈川土建の西川さん「横須賀三浦支部の組合員のご子息が米兵の車にはねられて死亡した事件への支援活動をしている」。年金者組合の菱沼さん「加齢性難聴者への補聴器助成を求める運動をすすめ、神奈川県が補助事業を開始し、横須賀市も始める」。新婦人の土屋さん「核兵器禁止条約の批准、憲法9条を守れという署名活動を推進している」。民商の富塚さん「景気の低迷で、国保や年金の取り立てが厳しくなっている。民商として当事者と一緒に交渉するなど市会員が増えている」。みなみ医療生協の安井さん「コロナ以降、外来の受診が減ってどこも経営が厳しくなっている。昨年地域医療を守れという署名を行い多くの賛同が集まった。この間、各自治体に熱中症対策を要請している」。保険医協会の中島さん「OTC類似薬の一部保険外しが来年3月から実施されるが凍結・中止の活動を継続するなど医療改悪反対の運動をすすめる」などの発言がありました。

①毎月、幹事会を開催する、②学習会を開催する、③宣伝行動を実施する、④社保協ニュースの発行、⑤自治体との懇談・要請・議会請願・陳情を行うなどの方針、横須賀市への予算要望、国保や介護の懇談などをすすめること、岡田哲郎会長、荷見正則事務局長など新役員を確認し閉会しました。



消費税への思い様々 シール投票で対話弾む

消費税廃止神奈川県各界連は24日、伊勢佐木町で定例の宣伝行動を実施しました。建設やパートナーの会など6団体から19人が参加。10月5日にはじまる臨時国会で消費税の食料品1%への減税法案が提出されることから、効果が限定的な1%減税ではなく、一律5%への減税で暮らしや営業を守る対策の必要性を訴えました。

この日の宣伝は、シール投票を中心に取り組みました。設問は、①食糧品に限り1%、②一律5%、③消費税は廃止、④下げる必要はないの4択。①は6人、②15人、③12人、④は6人、その他1人という結果でした。シール投票をまじえての対話では、「廃止してほしい。2年後に7%上がるなど許せない」（60代男性）、「生れた時は5%だったのに今は10%で驚く」（20代男性）、「インボイスはやめてほしい」。

建設業をやっていたので分かる。社会がおかしい」（70代男性）、「公共工事に使ってほしいので廃止しない方がいい」（60代男性）、「大企業を優遇しすぎている」（70代男性）など、さまざまな思いが寄せられました。臨時国会で焦点となる問題だけに、市民の関心の高さが伺えました。45分の行動でしたが署名も40人分集まり、チラシ・ティッシュセット300個配付されました。＜消費税廃止各界連「運動推進ニュース」より転載＞

消費税廃止各界連



全県宣伝で、消費税食料品 1%の問題点を訴える！！

消費税食料品 1%減税が閣議決定された中、国民の多くが食料品だけでも消費税が下がることに期待をしており、制度の問題点について対話することが大切になっています。

消費税廃止神奈川県各界連は9月9日と17日に全県一斉宣伝として、西湘地域の11市町で宣伝対話を取り組みました。9日は、民商や土建の役員らが多数行動。大磯の宣伝には両組織から11人が参加。一日の行動で署名10人分が集まり、チラシセット250個を配布。17日の行動ではチラシセット150枚を配布。署名も2人が協力。「国会に持っていき国民の声を届ける」と呼びかけると、快く協力してくれました。＜消費税廃止各界連「運動推進ニュース」より転載＞



人権といのち輝く社会保障の未来を描こう～分断と孤立、

世代間対立を乗り越えて～

中央社会保障学校 from 盛岡

第53回中央社会保障学校が9月5～6日に岩手県盛岡市で開催されました。参加者はWebを含めて360名を超えました。神奈川からは検知参加4人（建設労連、年金者組合、社保協2）、オンライン参加5人（生協労連ユーコープ労組2、川崎社保協、藤沢社保協、個人）でした。

オープニングは、岩手愛児会の皆さんの和太鼓。岩手県社保協会長・佐藤嘉夫さんの主催者挨拶に続き、芝田英明さんが「人権といのち輝く社会保障の未来」と題して講演しました。生存権にかかわる裁判の歴史的な状況を明らかにし、生活保護や外国人、障害者、性別などの生存権を具現化する訴訟と国民運動が社会保障発展の原動力だと強調しました。「戦争する国家」づくりが進むも、で、「人を生かすことと、殺すことは相反する。憲法や国際法に基づいて権力者の暴走を止めることが重要だ。平和と社会保障を維持するために頑張ってください」と呼びかけました。

シンポジウム「東日本大震災から15年」は、シンポジストに岩手の吉田裕也さん、福島野木茂雄さん、石川県能登の水上市幸夫さん。吉田さんは「国の全額支援終了後も、岩手県が医療費免除を長期継続したことを報告。『平常時から医療や介護、福祉を守り、地域のつながりを育てておくことが、次の災害の備えとなる』と語りました。野木さんは、原発事故の取り返しのつかない被害が続いている現状を報告。水上市さんは、能登半島地震で見たコミュニティ再建の大切さを訴えました。

二日目は、宮城県社保協会長の岩倉政城さんの「社会保障入門講座」と、4つの分科会（生活保護から生活保障へ、地域社保協と自治体キャラバン、旧沢内村の生命尊重行政から学ぶ、映画いのちの山河から学ぶ）、そして安達克郎・中央社保学校長の閉校挨拶で幕を閉じました。来年は、香川県で開催予定です。

以下は、オンライン参加の星めぐみさん（生協労連ユーコープ労組）の感想文です。

私たち一人一人が国の制度の手綱を握っていることを意識しよう！！

1) 学習講演「人権といのち輝く社会保障の未来」について

裁判闘争、争議行為が世の中を浮き彫りにする、可視化し、世論となることを学ばせていただきました。私の関心はどこにあるのか、それは私だけなのか、わたしたちなのか、ならばどうあってほしいのかと思って考えて、私の中に閉じこもったままの感情を表面化できる時に制度を後押しする力になってくれるのだらうと思いました。



岩手愛児会のみなさんの和太鼓



講演する芝田英明さん

どこかの誰かの苦難や困難はいつかの明日の自分かもしれないのだと思いました。アンテナを張って日々を過ごす事はとても疲れることです。ただでさえ目の前の生活に追い詰められているような日々です。私たちはいま国に振り回されて頭が追いつかなくなっていっているように感じます。国が私たちに首輪とリードをつけるのではなくて、私たち一人一人が国の制度の手綱を握っていることを意識しようとおもいました。

2) シンポジウム「東日本震災から 15 年震災と社会保障を考える」について

地域に求められているもの、地方自治の重要性、日々の住民のコミュニティとコミュニケーション。わたしたちはそれぞれの地域に住まい暮らすにおいて、自分のしらないところで地域の環境を整えてくれている人達に支えられているのだと感じました。

熊本の震災の時「被災地域から離れれば震災被害のないインフラが整備された環境がある。」という投稿を目にしました。故郷を、思い出のある地を、住み慣れた環境や人とのつながりを手放さなければならぬ事は想像を超えるほどに心に負担がかかるのだろうと思います。それでもその地域で、再建と復興、自分の生活を取り戻そうとしている人達がいる事を考えさせられました。手を差し伸べるにもその先の「届く」が整備されなければいけないのだと思いました。建造物の崩壊でアスベストの問題も起こり得ると思うと、この先にどんな保障が必要になるのだろうと思いました。

3) 社会保障入門講座について

じっとしていない講師…とても楽しかった、おもしろかったです。社会保障の市場化、自己責任論、新自由主義の中で人々は国から分断を煽られ、社会保障の概念をなし崩しにしてきたのだと再認識しました。応能負担と応益負担の考えに「納得」「理解」が及ばないのが今の私たちだと思います。

子どもをたくさん産んだら負担が増える健康保険の仕組みについて言及されていて、やっぱり変なんだ。おかしいってもっと言っていいんだと改めて思いました。保険料や税金を納めることで、自分への保障があることも、どこかの誰かが救われることもいいと思うけど、じゃあ今の私を救ってくれるのはなんなのか、私だって助けて欲しい。でもそれを「甘え」だと感じてしまうことが多いです。

ひとり親で児童扶養手当をいただいています。自分がもっとちゃんと働いて稼げるようになればいいと思ながらも、そうなれば手当は減額されます。これ以上頑張れないけど、頑張ったところで目の前の生活はプラスにはならないんだと思うと今の現状（補助や手当）に甘えてしまいます。保障が充実することは良い事です。必要な人に必要な制度、補助、支えが届くのは良い事です、一方でそこにあぐらをかこうとしたり、悪用されてしまうことも見聞きします。そんなのはごく一部で少数だからで片づけられてはいけないとも思います。逆にあたかもそれがすべてだとみられてしまうのも違うと思います。

講師の方の話を聞いていて「そうだったらいい」「そうなればいい」「そうすればいい」と思うことばかりなのに、なぜいま、制度がそうになっていないのかならないのか憤りでいっぱいになりました。今の社会の多くが自分にとって損か得かで成り立ってしまっているのでしょうね。人が人を思いやれる、違いを認めたり理解しようとしたり、何をどう守ることが大切なのか、それは教育の過程でも育まれていくことなのだと思います。わたしたちは情報過多な社会のなかで「都合の良い事」ばかりが流れ込んでくるだけの「情弱」になっているようにも思いました。

4) 分科会について 第2分科会

地域社保協の力強さを感じました。その地域に住む人たちの暮らしを考える、地方自治が県の制度も国の制度も変える力を持っている事が分かりました。少子高齢化、過疎化、人口流出において、それぞれの地域で住みたいと思える、住やすい、住み続けられるための制度や政策が打ち出されているように思います。私の住む地域でも、隣の市の方が子どもに関わる制度が進んでいるから引っ越した。という人がいました。住民を奪い合っているように感じてしまうこともありました。地方自治も競争しているなど。

でも、この分科会で話をきいて、「私たちの暮らしていく地域」について純粋に考え、行動し、それに自治体が応えているのだと思えました。財源がなくても精度を高めることが制度の向上につながり「届く」につながるのだと知りました。どの分野も重要なことになり変わりなく、要求や運動をされていると思いますが、大阪は教育の分野に力を入れているとのことで各都道府県やそれぞれの地域で最重要課題としている制度や運動も様々なのかな、と思いました。

5) 全体を通して

とてもいい内容の2日間でした。再度同じ内容で行っていただいてもいいのではないかと思います。ありがとうございました。

今後の社保学校への希望として、社会保障において「平等、公平、公正」をどうとらえるのか学びたいです。日本は福祉国家ですか？ということを探堀できるようなお話を聞きたいです。

- ◆11月11日(水) 10:00~17:00「介護・認知症なんでも無料電話相談」を実施します。介護事業に携わるケアマネジャー、ソーシャルワーカーが対応します。介護にかかわる相談、なんでも受け付けます。
- ◆11月14日(土) 13:00~16:30 建設プラザ2F ホールで、全県国保改善交流集会を開催します。「あなたのあたりまえが奪われる前に! 医療保障のいまと未来を考える」と題して、長友薫輝さん(佛教大学社会福祉学部教授)にお話しいただきます。神田敏文さんに神奈川県各市町村国保の現状報告をいただきます。そして、2026年度の市町村国保調査の特徴を報告し、自治体との連携、地域運動の前進につながる交流会として位置づけています。

2026年全県国保改善交流集会

あなたのあたりまえが奪われる前に!
医療保障のいまと未来を考える



講師

長友 薫輝 さん
(佛教大学社会福祉学部教授)

<プロフィール>

佛教大学社会福祉学部准教授。専門は社会保障学、医療・福祉政策論、地域医療論・地域福祉論。三重県障がい者差別解消支援協議会会長等を務める。主な著書に『全世代型社会保障改革とは何か一国民健康保険と医療政策のゆくえ』(2025年)など多数。

報告

- ①「神奈川県における市町村国保の現状」
神田敏文さん(神奈川自治労連役員)
- ②「2026年度市町村国保調査の特徴」県社保協

資料代
500円
(会場参加)

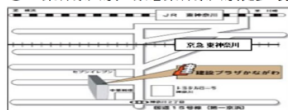
日時

11月14日(土)
13:00開会(12:30開場)
★13:00~15:30 講演・報告
★15:30~16:30 質疑・討論

会場

建設プラザ2Fホール

横浜市神奈川区神奈川2-19-3 TEL:045-453-9701
◎JR東神奈川駅・京急東神奈川駅徒歩5分



ZOOM視聴・接続情報

<https://x.gd/CG9xP>

ZOOM視聴は当日12時30分から接続できます。講演レジュメ・資料は、前日(11月13日)までに神奈川県社保協ホームページにアップします。



<主催> 神奈川県社会保障推進協議会(神奈川県社保協)
☎045-201-3900 FAX:045-212-5745

info@kanagawa-shahokyou.jp <https://kanagawa-shahokyou.jp>

11月11日は「介護の日」
第16回 介護・認知症
なんでも無料電話相談

2026年11月11日(水)10時~17時

0120-110-458

介護・認知症なんでも無料電話相談には、介護の専門家が対応します。

プライバシーは厳守します。



神奈川県社会保障推進協議会

横浜市中区桜木町 3-9 TEL:045-201-3900 FAX:045-212-5745

<10月の主な行動・会議日程>

- 10月2日(金) 県社保協第4回常幹 14:00 建設プラザ3F 会議室+ (ZOOM)
- 10月3日(土) 介護保険のいまと未来を考えるつどい 13:30 横浜市健康福祉センター8F
- 10月7日(水) 中央社保協運営委員会&介護障碍部会 10:30 日本医療労働会館+ (ZOOM)
消費税廃止各界連全国代表者会議 13:30 衆議院第二議員会館第1会議室
- 10月9日(金) 県社保協第4回幹事会 14:00 保険医協会会議室+ (ZOOM)
- 10月12日(月) 茅ヶ崎民商社会保障学習会 11:00 茅ヶ崎民商会議室
- 10月15日(木) 介護のつどい実行委員会 10:00 平和と労働会館3F 会議室+ (ZOOM)
- 10月17日(土) 全国介護学習交流集会 14:00 全労連会館2F ホール+ (ZOOM)
- 10月18日(日) 神奈川合唱団コンサート: 今こそ九条 13:00・16:00 開演 港南区民文化C
- 10月19日(月) 消費税廃止各界連運営委員会 15:00 神商連会館会議室+ (ZOOM)
- 10月20日(火) 市町村国保課との懇談 10:00 開始予定 (厚木市・愛川町・清川村)
国民大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平和と労働会館4F 会議室
生存権裁判を支える会幹事会 10:00 平和と労働会館7F 会議室
- 10月21日(水) 消費税ネット世話人会&事務局会議 17:00 建設労連会議室+ (ZOOM)
- 10月23日(金) 高齢期運動連絡会事務局会議 10:00 年金者組合会議室
消費税廃止各界連宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 10月26日(月) 横須賀社保協幹事会 10:30 みなみ医療生協衣笠診療所会議室+ (ZOOM)
- 10月27日(火) 市町村国保課との懇談 10:00 開始予定 (海老名市・座間市・綾瀬市・大和市)
- 10月28日(水) 神奈川県行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室
- 10月29日(木) 10.29いのちまもる総行動 13:30 上野恩賜公園野外ステージ
- 10月30日(金) 県社保協医療保険改善委員会 10:00 神商連会議室+ (ZOOM)
- 10月31日(土) 戦争準備と国民監視に反対する神奈川のつどい 13:00 横浜市旭区公会堂